

事業所名

子ども支援室 えがお

☺ 支援プログラム ☺

作成日

令和6 年

12 月

20 日

法人（事業所）理念		♥障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちを一人の人間として尊重します。 ♥支援が必要な特性を持ち、生きにくさを感じている子どもたちやその家族、関係者、地域社会に対して、特性についての理解、正しい知識と支援を広め、みんなが笑顔で幸せに生活を送れることを目指します。											
支援方針		♥少人数での集団において一對一でのスタッフ配置を基本として、子どもに寄り添い、楽しく活動に参加できる環境を作っていきます。 ♥「今できている」ことを大切にしていきます。一人一人の特性を理解し子どもたちが「できる！！できた！！」の喜びを感じ「もっとやりたい！！」という気持ちを引き出し、ニーズ課題に向け支援をし、次へのステップへとつないでいきます。 ♥集団、個人での『遊び』の取り組みの中で「◎楽しい◎」を大人や他児と共有し、人との信頼関係を育み、発達を促していけるようニーズ課題にあった遊びを提供していきます。											
営業時間		9 時		00 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・健康状態の確認や個々の特性等に配慮し、健康な心と身体を育て安心、安全、安定した見通しを持った生活が送れるように支援をします。 ・健康の増進、睡眠、食事、排泄、着脱等の基本的な生活のスキルを獲得していけるように個別の課題にあった支援、環境を提供していきます。 ・身の回りのスキルはスモールステップで支援をします。											
	運動・感覚	・身体のボディイメージを持ち、身体の使い方を獲得していけるように支援をし、粗大運動、微細運動の発達を促します ・運動や動作、姿勢、の身体の機能の向上を目指します。身体的機能に補助が必要な場合は、補助具や姿勢を保持できるツール等を使い支援をしていきます。 ・感覚の特性を理解し環境を調整したり、配慮していきます。また、苦手な感覚に対して回避できる手段を獲得できる支援をしていきます。											
	認知・行動	・ニーズ課題に合った様々な遊びを経験し、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、必要な情報を収集して行動につなげていく認知機能の発達を促します。 ・認知や行動に結びつく、概念の理解形成を様々な経験を通して獲得していけるように支援をしていきます。											
	言語 コミュニケーション	・大人や他児とあそびや活動を通して二項、三項関係等共有したい気持ちを育んでいきます。 ・言語発声にこだわらず、子どもが伝えやすい、絵カード、指差し、サイン、ジェスチャー、文字、コミュニケーションツール等を活用し、人とのコミュニケーション、意志の伝達を支援し「相手に伝わる」「相手から返ってくる」等の相互のやり取りに、楽しみ喜びを感じられることを目指します。											
	人間関係 社会性	・人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を築き、その信頼関係を基盤として、他の周りの大人、他児と安心、安定した関係を形成していきます。 ・小集団に信頼できる大人と一緒に参加し社会性の発達を支援していきます。 ・気持ちや情動の調整を大人と一緒に行っていきます。 ・一人遊びや感覚遊びから模倣あそび、象徴遊び、共同遊び、人と遊ぶ、物を共有すること等、人との関わりを持ち、次へのステップへの移行を支援します。											
家族支援		・子どもの発達の状況や特性などの理解、援助 ・子育てにおける困り事の相談 ・子育てや、特性に関する情報の提供 ・兄弟の相談 ・保護者見学会						移行支援		・次へのステップに向けての目標設定や支援内容の計画 ・移行先の園、進路先の相談や情報提供 ・併用で利用している機関等との情報の共有、支援内容の共有 ・「えがお」で習得したスキルの家庭、園などの場所でも般化を支援			
地域支援・地域連携		・通園している園や併用先との情報の共有、支援や子ども、家族状況の相談 ・福祉サービス関係機関との連携（相談支援事業所、一般相談等） ・地域行事への参加						職員の質の向上		・虐待防止、身体拘束に関する研修・感染症に関する研修 ・災害に関する研修・事故防止に関する研修 ・障がい特性、支援に関する研修 ・その他行政等からの案内のあった研修への参加			
主な行事等		・季節、祝日の内容にあわせたイベント（節分、夏祭り、遠足、水遊び、子どもの日、敬老の日、クリスマス会等）お誕生日会等 ・公共の施設での活動 ・保護者見学、関係機関の見学 ・避難訓練											